

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 愛媛県 グループホーム さしもも

(ユニット名) さしもも 1

記入者(管理者)

氏名 西田 美恵子

評価完了日

平成 19 年 9 月 25 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103466		
法人名	有限会社 ケイ・エム・エス		
事業所名	グループホームさしもも		
所在地	松山市高岡町617番地	(電話) 089-973-7055	
管理者	西田 美恵子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年10月12日	評価確定日	平成19年11月20日

【情報提供票より】 (平成19年9月27日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年7月14日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 14.8人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年9月27日現在)			
利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 66 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所は民家改造・新築二つのユニットが廊下でつながっている。両ユニットは、食堂とは別に利用者の集える部屋を設けておられ、くつろぎの場所となっていた。 入居前に事業所を見学していただいたり、ご本人の自宅を訪問されている。入居間もない頃は、ご家族に頻繁に来訪していただけるよう働きかけておられる。 CDをかけ好きな歌を歌われたり、新聞や雑誌などを読まれる方もおられる。又、利用者同士ユニットを行き来され、将棋をさされる方もおられる。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受け、職員で話をされた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者が自己評価を作成し、職員の意見を聞かれた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議をこれまで3回開催されており、出席者より「グループホームのことがわかって良かった」というような感想も聞かれた。5月以降、会議の開催はされていない。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族来訪時、ご本人の近況報告をされている。来訪されにくい遠方のご家族については、毎月、お手紙にて近況報告をされている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域の敬老会に出席される利用者もおられる。訪問時にはボランティアの方が玄関のお花を活けに来られていた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			毎朝のミーティング等で介護理念の唱和、また理念に基づき、サービスの提供をしている。		
			(外部評価)		
			事業所では利用者の自由な暮らしを大切に、ユニット毎に理念が作られている。又、職員は「一日の五心」を掲げ、感謝の心や謙虚な心を心掛けて取り組まれている。		さらに、「地域密着型サービス」を提供する事業所として地域の中で目指すことについて、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			目につく所に理念をかかげ、日々共有して取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			管理者と職員は理念を共有し、日々のケアに取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			推進会議などから地域に少しずつ取り組んでいると思う。ご家族には、入所時に伝えられていると思う。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩、買い物、散発などに出かける時、挨拶を交わしたり、話をしたりしている。畑の作物の差し入れを頂く方もいる。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の文化祭、お祭り、盆踊りなどには、利用者と共に積極的に参加している。 (外部評価) 地域の敬老会に出席される利用者もおられる。訪問時にはボランティアの方が玄関のお花を活けに来られていた。		事業所では、さらに利用者が地域行事に参加できるような取り組みを検討されていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ボランティアの受け入れを行なっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員は、評価の意義を理解し、自己評価に取り組むようにしている。 (外部評価) 管理者が自己評価を作成し、職員の意見を聞かれた。前回の評価結果を受け、職員で話をされた。		事業所では今後、評価結果をもとに、職員で話し合い、具体的な改善に取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			できるだけ、質問・意見・要望を受け、双方向的な会議となるようにしている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議をこれまで3回開催されており、出席者より「グループホームのことがわかって良かった」というような感想も聞かれた。5月以降、会議の開催はされていない。		事業所では、今後、運営推進会議を早期に開催し、運営についての意見交換を行っていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			推進会議以外での連携は取れていない。		
			(外部評価)		
			制度についての質問等、市の担当者に問い合わせをされることもある。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			今のところ、対応が必要と思われる利用者はいない。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、事務所のケアに関する考え方や取り組み、対応可能な範囲について説明を行なっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 来訪時には、入所者さんの現状を説明し、何らかの変化や問題が起きた場合は連絡をしている。金銭については、使途の確認や出納帳の明示をしている。		
			(外部評価) ご家族来訪時、ご本人の近況報告をされている。来訪されにくい遠方のご家族については、毎月、お手紙にて近況報告をされている。		さらに、事業所全体の取り組み等もお知らせされてみてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、訪問時に何でも言っていただけるよう留意している。		
			(外部評価) ご家族来訪時、声をかけるよう努めておられる。現在は、ご家族からの苦情や要望は少ない。		ご家族が意見や要望等を出しやすいような雰囲気作り等、さらなる工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) でき限り利用者の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 各ユニットの職員を固定化している。		
			(外部評価) 職員の離職時には利用者に挨拶をされている。		さらなる運営者との協働や、チームケアを実践する現場職員の声を運営に反映できるような仕組み作り等も期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修などの参加を心がけている。		
			(外部評価) 職員は、レクレーションの研修等、外部研修にも参加をされている。内部研修の機会は少なめである。		内部・外部研修の積極的な受講等、全職員が集まり話し合うような機会を増やし、さらなる職員のスキルアップから事業所の質向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			できていない。		
			(外部評価)		
			母体法人内の他グループホームで行われる行事等に参加されている。		さらに、地域の他事業者とも積極的に交流を図り、ネットワーク作りから貴事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			昼食後、順番に利用者と離れ、休憩の時間をとっている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			あまりできていない。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用者さんの意思を尊重している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の求めるものを理解する努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 福祉用具以外には今のところ、他のサービス利用ケースはありません。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の方に事業所を見学してもらったり、入居時には馴染みのもの(鏡台や戸棚など)を持って来てもらうようにしている。また、入所してからもできるだけ安心感を持ってもらえるようにしている。 (外部評価) 入居前に事業所を見学していただいたり、ご本人の自宅を訪問されている。入居間もない頃は、ご家族に頻りに来訪していただけるよう働きかけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 支援する側、支援される側という意識を持たず、お互いが共同しながら和やかな生活、安心できる生活の場をつくる。 (外部評価) 職員は、料理のこと等について利用者から教えていただくことがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の方と同じような思いで支援していけるよう考えている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 今の関係を大切にしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会の方には居室でゆっくりしていただけるように努めている。また、疎遠な家族さん(特にキーパーソンの方)にはこちらから電話をして入居者さんと会話をさせていただくように努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 皆で楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面づくりをするなど、利用者同士の関係がうまくいくよう職員が調整役となって支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要に応じて相談できる体制は出来ている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情などから意思を推測し、それとなく確認するようにしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望を利用者個々に聞いておられるが、現在、利用者からの意見は少なめである。耳の不自由な方とは筆談でコミュニケーションをとられていた。		今後もさらに、ご本人の思いや希望を汲み取り、生活を支援していけるよう取り組みを工夫していかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			折に触れ、会話や日々の生活上に於いて少しずつ把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から感じ取り、本人の全体像の把握に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の担当を決めている。担当者の意見もまじえてケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族の要望や日々の状態を踏まえて、担当職員が介護計画を作成されている。		さらに、介護計画に沿ったケアを提供できるような仕組み作りが期待される。又、この機会に、ご本人本位のケアが実践できるような計画作成の仕組み作りについて、話し合ってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ケアプランの書き直しは出来ていないが、見直しの必要な場合は、ミーティングやカンファレンスで現状に即した対応をするように話し合っている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個々の食事、排泄などの身体状況、および日々の暮らしの様子や、本人の言葉、エピソードなどを記録して、申し送りのときに確認している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			現在までケースはないが、グループ内の他事業所を利用することは可能である。		
			(外部評価)		
			事業所では、ご家族が宿泊できるよう準備されている。散髪や美容室に行かれる際には職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 現実にはあまり出来ていない。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人・家族さんの意向で介護用品等の購入時には他のケアマネや業者に相談をしているが、他のサービスについての連携はほとんどない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ、推進会議以外では協働がほとんど進んでいない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医の他、受診や通院は、ご本人やご家族の希望に応じて対応している。 (外部評価) 協力病院を受診される場合は職員が付き添い、ご本人の日頃の状態を報告されている。眼科・産婦人科はご家族が付き添い受診されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医院の他に認知症を理解し受診させていただいている眼科・歯科があり必要に応じて往診などもして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医院の看護師とは、日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行なってもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、頻繁に職員が見舞うようにしている。また、家族とも情報交換をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族さんの意向を踏まえた上で、急変時等には家族さんと管理者または、ケアマネが同席し、主治医と最善の方法を話し合っている。 (外部評価) 状態変化に応じてその都度、関係者で話し合い取り組んでおられる。		今後、事業所では、職員と話し合いを重ね、重度化、終末期時に対応できる体制を作っていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) カンファレンスなどで話し合っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移動する場合や入院時等には、フェイスシートを手渡すと共に、特に注意が必要な点等の情報を提供し連携を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			利用者さんの個人情報やプライバシーを損ねない対応を図っている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の中で他の利用者のプライバシーにかかわる話をしないように心がけておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			入浴や食事、おやつなど、自己決定していただいているが毎回ではない。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者さんのペースを大事にしているが、人員の配置の関係で介護者主体の言葉がけになることがある。		
			(外部評価)		
			居間のソファで横になり休まれる方もおられた。又、食事はご本人のペースで食べておられ、時間をおいて食事される方もおられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替え時は出来るだけ本人の意向で決めている。自己決定がしにくい方には、出来るだけ身綺麗にもらえるようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員も利用者さんと同じものを一緒に食べている。 (外部評価) 職員は昼食のみ利用者と食べておられる。テーブル上の調味料を利用者は好みで使用されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) コーヒー、お茶など利用者さんの飲みたい時間にいつでも楽しめるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を参考に朝のミーティングで便秘の方の服薬の中止や服用等を話し合っている。また、トイレ誘導で、なるべくトイレにて排泄できるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			利用者さんのその日の希望を確認して入浴してもらっている。		
			(外部評価)		
			入浴は週2回となっているが、希望により、いつでも入浴できるようになっている。新しいユニットには、特殊浴槽が設置されていた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
			(外部評価)		
			寝るのが一番といわれる方も多いようであるが、中には、CDをかけ好きな歌を歌われたり、新聞や雑誌などを読まれる方もおられる。又、利用者同士ユニットを行き来され、将棋を指される方もおられる。		さらに、事業所では、ホーム内での楽しみごとを増やしていきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご家族の協力を得て、小額のお金を持っている人も居る。外出時やジュースを買うときなど、自分で払う工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			気候の良い時は、散歩、買い物、ドライブ等に出かけている。		
			(外部評価)		
			お天気や気温等にも配慮しながら、散歩に出かけておられる。		事業所では外出の機会を増やしていきたいと考えておられる。さらに、外出の難しいような方についても、外気にふれるような機会を増やしていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			あまりできていない。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者さんの希望に応じて、日常的に電話や手紙を出せるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間などは定めておらず、いつでも尋ねていただける配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや日々の申し送り時等で身体拘束につ いて理解し確認できている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵を掛けていない。利用者さんが外出しそうな 様子が見られたら、さりげなく声を掛け足り、一緒 についていくなどしている。 (外部評価) 日中玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるよ うになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) 出来る限り、全員の状況を把握するよう努めている。 夜間は数時間毎に様子を確認し、起床時にはすぐ対応 できるよう見回りの徹底をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 包丁や洗剤、カッター、薬など、利用者の状況や変化 などによっては注意を促していくなど、ケースに応じ た対応をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリ・ハットを基に日々事故防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 近くに主治医が居り、24時間連絡を取れる体制がある。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 働きかけていません。 (外部評価) 消防署の協力のもと、避難訓練や自主訓練を実施されている。避難場所等について職員と話し合い決められている。		災害時の地域の協力について、運営推進会議で話し合っていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) あまりできていない。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化などに気づいたことがあれば、直ぐに職員間で共有し、対応に当たっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>服薬時は、本人に手渡し、きちんと服用できているかの確認をしている。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>水分補給に気をつけ、毎食後、寒天ゼリーをとっている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>就寝時、職員の見守りと介助で口腔ケアをしている。また、義歯は居室の専用コップにポリデントを入れて衛生面に気をつけている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事の摂取状況をチェック表に記録している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人内特養の献立を参考に事業所の献立を作成されている。お茶のペットボトルをテーブルに置き、利用者は飲みたい時に飲まれている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じてマニュアルを使用できている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板や台布巾などは、毎晩漂白し、清潔を心がけている。食器乾燥機を使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>明るい雰囲気のある玄関になるよう、花を生けたり、玄関先にプランターを置いたりしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>民家改造のホームであり、入居者の方には落ち着いて生活していただいている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は民家改造・新築二つのユニットが廊下でつながっている。両ユニットは、食堂とは別に利用者の集える部屋を設けておられ、くつろぎの場所となっていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ベランダに椅子とテーブルを置き、1人で過ごしたり、お茶を飲んだり、くつろげるスペースを作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた時計、ラジオ、テレビを使用している利用者さんも居る。		
			(外部評価)		
			居室には、利用者の使い慣れた馴染みの家具や好みものなどが持ち込まれており、沢山のぬいぐるみに囲まれた部屋も見られた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			臭いの気になるところには、芳香剤や消臭剤を置き、室温調整も適切に行なえている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりがあり、バリアフリーになっている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや居室に表札で掲示してあり、必要な人には分かりやすく、それ以外の表示もしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑にさつま芋を植えたり、季節のものが収穫できる。ベンチを置いて、涼んだり日向ぼっこができる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ケアプランや本人・家族さんとの会話により。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎食時やおやつの時間。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事やおやつの時間は、ある程度ホームのリズムに合わせていただいている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	歌やゲーム時は皆さんが生き生きとされているが、一部の方は賑やかさを嫌がる方もいらっしゃる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	関連施設のイベントなどに出かける他は現状では難しい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医院や眼科・婦人科も直ぐ近くにある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思疎通がうまく行かない場合もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族さんの来所時にコミュニケーションをとっている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地元の方がボランティアに訪れている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ③あまり増えていない	ホーム主体のイベントなどがなく、深い関係は築けていない。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ②職員の2/3くらいが	入所者さんと接する時間をもっと多くとりたいと思っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが	もっとして欲しい・してあげることがあると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ②家族等の2/3くらいが	特に表立った苦情もなく、満足している方もあると思いたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一、はい、と言う素直な心
 一、すみません、と言う反省の心
 一、ありがとうございます、と言う感謝の心
 一、おかげさまで、と言う謙虚な心
 一、私がします、と言う奉仕の心

いつ、どんなときでも、優しさ、真摯な気持ちで入所者の方と一緒に生活する